

臨時ITER理事会の開催結果について



平成27年3月26日

文部科学省



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

臨時ITER理事会の日程等

日程： 2015年3月5日(木)

場所： CEA本部(フランス、パリ)

議長： アイオッティ CH2M-WG HILL 原子力ビジネスグループ社 元会長

出席者：

日本： 土屋 文部科学審議官 他

欧州： スミッツ 欧州委員会研究・イノベーション総局長 他

米国： ノーテク エネルギー省科学・エネルギー担当副次官 他

ロシア： ボロフコフ ロシア連邦政府国防産業委員会委員長 他

中国： 曹(ツァオ) 科学技術部副部長 他

韓国： チョ 未来創造科学部研究開発政策官付核融合研究開発支援チーム課長 他

インド： グローバー ホミ・バーバ国立研究所長 他

ITER機構： 本島 機構長

ビゴ 次期機構長候補者 他



(1) 開会挨拶

(議長、機構長、各極代表)

(2) 次期機構長候補者が提案する行動計画

(3) 機構長の任命

(4) その他



臨時ITER理事会の結果概要(1)

次期機構長候補者が提案する行動計画

- ITER機構(IO)と国内機関(DA)との関係改善を図るため、IOとDAを統合したチームを設置。
 - 機構長(DG)は、プロジェクト全体のあらゆる技術的決定を行う権限を有する。
 - DG及び2名の副機構長(DDG)を中心とするITER機構の組織案の効率化。
 - IOとDAにおける意思決定のため、DG(議長)、DDG、DA長で構成される事業運営委員会を設置。
 - 建設にあたり緊急に必要な資金をまかなうため、当面はITER機構が有する既存の予備的資金を活用するリザーブファンドの設立。
 - 職員の採用は専門家としての能力を第一とする。また、現在の職員の雇用契約期間(5年)に縛られない雇用形態や、IOとDA間での異動を改善する仕組みを構築。
 - 本年6月の第16回ITER理事会で、スケジュールに関する作業の進捗報告を行い、11月の第17回ITER理事会で、資源割当スケジュールを策定することを目指す。
- ⇒ ITER理事会は、行動計画を必要な修正を施して、全会一致で承認

第15回ITER理事会の結果概要(2)

機構長の任命

- 昨年11月のITER理事会において次期機構長候補に指名されていたビゴ博士(前・仏原子力・代替エネルギー庁(CEA)長官)を、本島機構長の後任として、新機構長に任命した。
- 本島機構長に対して、これまでのITERへの多大な貢献に感謝の意が表され、ビゴ新機構長から名誉機構長の称号が授与された。



<ITER理事会メンバー>

